

予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：農林水産業費 項：畜産業費 目：畜産振興費

事業名 飛騨牛生産基盤強化対策事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部 畜産振興課 飛騨牛銘柄推進室 銘柄推進係 電話番号：058-272-1111(内4138)

E-mail : c11437@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 20,783千円 (前年度予算額： 22,455千円)

<財源内訳>

区分		財 源 内 訳						
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使 用 料 手数料	財 産 収 入	寄 附 金	そ の 他	県 債
前年度	22,455	0	0	0	0	0	0	0
要求額	20,783	0	0	0	0	0	0	0
決定額								

2 要求内容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

県内市場に上場される和牛子牛が全国でもトップクラスの評価を受けるなど、飛騨牛ブランドが県内外に認知されつつある状況にあり、今後も、飛騨牛の質・量の充実を図り、県内肉用牛生産基盤の強化のためには、優秀な和牛繁殖雌牛の確保が不可欠である。

また、飛騨牛のブランド力向上に伴い、新規就農者・希望者が増えつつあるが、地域に根付かせ、技術力の底上げを図るために、技術的な相談ができる仲間づくり、ネットワークづくりが必要である。

(2) 事業内容

『牛づくり』「優秀な雌牛の保留・導入により、飛騨牛の質・量の充実を図る。」

県内の優秀な雌子牛が県外に流出しないよう、子牛市場上場前に巡回調査を実施し、保留候補牛を推奨し、生産者に保留の啓発を行うとともに、保留を行う生産者に対し支援を行う。

『人づくり』「担い手に先人の技(飼養管理技術)の継承を図る。」

担い手が、先人の技術を吸収し、高品位な飛騨牛増産に向けた繁殖並びに肥育技術を高めるための研修会・巡回指導等に対し支援を行う。

『検証』「良い素材(牛)を良い技術(人)で究極の『飛騨牛』に仕上げる。」

5年に一度開催される全国和牛能力共進会で優秀な成績を収め、飛騨牛がブランドのトップランナーであることを全国に知らしめるため、出品に向けた候補牛の選定・調教といった事前の組織的な取り組み、共進会等の開催に要する経費に対し支援を行う。

(3) 県負担・補助率の考え方

本県の銘柄である飛騨牛の生産振興であるため、事業費の1／2を負担する。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	20,783	優良雌牛保留支援、飛騨牛生産技術向上推進支援
合計	20,783	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

「ぎふ農業活性化基本計画（仮称・令和8年3月策定予定）の基本方針2 潜在力をフル活用した生産強化 稼げる産地づくりの促進」で、飛騨牛の量、質の充実を図るために、高能力な雌牛の保留・導入を推進することとしている。

(2) 国・他県の状況

他県においても、生産基盤に資する事業を展開し、牛造り・人づくりを推進している。

(3) 後年度の財政負担

本県の肉用牛生産基盤の強化に資する事業であるため、今後も県単独事業として継続する。

(4) 事業主体及びその妥当性

事業主体である（一社）岐阜県畜産協会は、和牛改良を行う「全国和牛登録協会岐阜県支部」の事務局を担っており、和牛改良業務に精通した県内唯一の中央審査員及び地方審査員の資格を持つ者を擁している。また、県内肉用牛飼育農家で組織する「岐阜県肉用牛協会」の事務局を担い、県内の肉用牛農家の現状を最も把握している組織であり、様々な角度からの対応が可能であることから、事業主体としてふさわしい。

県単独補助金事業評価調書

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	飛騨牛生産基盤強化対策事業費補助金
補助事業者（団体）	一般社団法人岐阜県畜産協会 (理由) 飛騨牛の生産基盤の強化には、畜産協会との連携が不可欠であるため。
補助事業の概要	(目的) 県内肉用牛生産基盤の強化 (内容) 優良雌牛保留支援、飛騨牛生産技術向上推進支援
補助率・補助単価等	定額 (内容) 研修会（肥育、繁殖、後継者育成）、共進会、種牛区集合調査会、優良雌牛導入保留、巡回指導 (理由) 畜産協会は収入基盤が脆弱であるため、県畜産施策場必要な事業について、必要な範囲内で補助が必要。
補助効果	優秀な雌子牛を保留、農家技術のレベル向上
終期の設定	終期 令和9年度 (理由) 第13回全国和牛能力共進会が開催される令和9年度までを一区切りとして事業の見直しを行う。

(事業目標)

・終期までに何をどのような状態にしたいのか

飛騨牛の質の向上並びに増産に努め、令和9年に開催される第13回全国和牛能力共進会北海道大会で優秀な成績を挙げ、飛騨牛を全国にPRする。

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R2)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R9)	達成率
①繁殖雌牛の保留頭数	26.3%	28.7%	31.0%	34.5%	37.0%	77.5%

(これまでの取組内容と成果)

令和4年度	① 県内で生産された優秀な雌子牛を保留したことで、県内繁殖雌牛群の資質向上と頭数維持につながった。 ②各種研修会を開催したことにより、農家及び技術者のレベル向上につながった。
	指標① 目標：37.0% 実績：27.1% 達成率：73.2%
令和5年度	① 県内で生産された優秀な雌子牛を保留したことで、県内繁殖雌牛群の資質向上と頭数維持につながった。 ②各種研修会を開催したことにより、農家及び技術者のレベル向上につながった。
	指標① 目標：37.0% 実績：27.9% 達成率：75.6%
令和6年度	① 県内で生産された優秀な雌子牛を保留したことで、県内繁殖雌牛群の資質向上と頭数維持につながった。 ②各種研修会を開催したことにより、農家及び技術者のレベル向上につながった。
	指標① 目標：37.0% 実績：28.7% 達成率：77.5%

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価) 3	ぎふ農業・農村基本計画の主要品目別施策〔第7章（14）飛騨牛〕で、飛騨牛の量、質の充実を図るため、高能力な雌牛の保留・導入を推進することとしている。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)	
3：期待以上の成果あり（単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり） 2：期待どおりの成果あり（単年度目標100%達成） 1：期待どおりの成果が得られていない（単年度目標50～100%） 0：ほとんど成果が得られていない（単年度目標50%未満）	
(評価) 2	飛騨牛ブランドは支える「牛づくり」として、優良繁殖雌子牛の保留を、「人づくり」として各種研修会を開催することで、牛と人双方のレベルアップにつながっている。
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)	
2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価) 2	（一社）岐阜県畜産協会をはじめ、（公社）全国和牛登録協会岐阜県支部、全農岐阜県本部、生産者団体、県市町村など県域全体で飛騨牛改良推進及び担い手育成に取り組む体制が構築されている。

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項
農家の高齢化により農家戸数が減少している。
子牛価格の高騰により繁殖雌牛の頭数が頭打ちになっている。

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか
少子高齢化の中、肉用牛の生産を続けていくため、「牛づくり」「人づくり」の支援が継続して必要。